

みて！みて！きて！

ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
 天神3丁目11番31号
 電話 23-5144

平成27年10月号

「マナー」について感じる事

日本語辞典では、「行儀、作法、方法、様式、態度」等に訳されていました。さらに、「行儀」を見ると、「立ち振る舞い」と訳されていました。

なぜこのような言葉に関心を抱いたかと言いますと、最近、日常の中で疑問を感じたからです。

自治会の集まり等で、玄関先の下駄箱がない所では大変な散らかりようで、脱いだ向きがバラバラ！！旅行先ではお風呂の入口に世話人がいないと大変！！スリッパ等バラバラに散乱！！トイレでは専用スリッパがこれも向きがバラバラ！！子どもの時代に戻ったような気がいたしました。

何事も「マナーが悪い」の一言で処理され済まされていますが、いかがでしょうか。そのようなことに対して気遣う人も少ないように感じます。

日本の「おもてなし」精神では、次に使う人のことを考え、向きを変えて揃えて置くということがマナーだろうと思いますが、現実には時の流れの中でマナーの乱れを感じるこの頃です。

「マナー」と言えば、地域のごみステーション、資源回収の現場でも、「ルール違反」等、マナーの乱れを見かけることがあります。このようなマナーを守らない人たちにはどのようにしたら良いのか、私たちごみ減量アドバイザーとして、行政と共に書類説明だけではなく、「現場において優しい声かけ」等で、マナーの改善とごみ減量に理解と協力をお願いし、活動に努めたいと思っています。

このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

古着の回収

10月2日（金）午前10時から正午

回収する物は、どなたかが着られる状態の衣類で、破れたり、汚れがあったりするのは回収できません。

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

1	木	
2	金	古着回収日
3	土	休館日
4	日	休館日
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	着物からポシェット作り
9	金	裂き織り体験教室
10	土	休館日
11	日	休館日
12	月	休館日（体育の日）
13	火	
14	水	
15	木	着物からポシェット作り
16	金	
17	土	休館日
18	日	休館日
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	休館日
25	日	休館日
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	休館日

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

「子どもごみ探険隊」に参加して

7月下旬、市内小学生27名が参加して、プラマーク付プラスチック（緑の指定ごみ袋）を処理している水工技建小牧工場と、長野県中古自動車リサイクルセンター東部町事業所の見学に参加しました。

最初に、水工技建小牧工場の廃プラスチックの保管場所と仕分け工程を見学しました。現在の処理量は15トン/週とのこと。市内全域から収集されており、特に問題は空き缶の混入や中身の入ったままの容器で、小学生は臭いが気になったようでした。

プラマーク付プラスチックのごみ袋に入れてよい物と処理の仕方を、もう一度各家庭で見直すことが必要と感じました。（容器の中をきれいにして、プラスチック以外は収集の袋には入れてはいけないということがルールです。）

次に、リサイクル社会の構築をテーマに揚げ、年2万台を処理している中古自動車リサイクルセンターの中古車の部品取りラインを見学しました。同センターの再資源化率は98%で、国の目標値95%をクリアしています。

見学後、クリーンセンターに戻り、昼食後、子どもたちと「ごみ分別ゲーム」、「牛乳パックを使った工作」、「見学会のまとめと発表」を行いました。

参加した小学生の皆さんは、この「子どもごみ探険隊」で学んだことを将来役立ててほしいと願っています。

ごみの出し方や減量方法等について、不明な点や疑問等ありましたら、気軽に地域のアドバイザーに声をかけてください。

体験コーナー

空き缶のリサイクル

牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします（申込不要）。

生ごみ処理基材「ぱっくん」は、4月1日から、無料で配布しています。生ごみを燃やさず、有効活用しましょう。御協力ください。

“焼却炉がギブアップです！！”



わくわく講座（参加費各回100円） 託児は御遠慮願います。

申し込みは10月1日（木）以降、電話でエコ・ハウスへ（受付は電話のみ）

着物地からポシェット作り（定員8名）

不要なものがリサイクルやリフォームで生まれ変わる楽しさを体験しませんか。

日時：10月8日（木）、15日（木）午前10時～午後3時（2回コース）

持ち物：着物（ほだいて）、裏用布、裁縫道具、型紙用紙、昼食

諸経費：1回100円

材料費：100円

裂き織り体験教室（定員10名）

古布を捨てずに、裂いて織ってみましょう。

日時：10月9日（金）午前10時～正午

持ち物：裂いてもいい着物又は布

材料費：500円

注意：当日は、織り方の説明のみ

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」（上田クリーンセンター内） 上田市天神 3-11-31 23 - 5144

エコ・サポート21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/haiki/kurashi/gomi/eco-house/>